

令和7年度 第1回 首里城復興推進本部会議

1. 議事

(1) 報告

令和6年度における首里城復興への主な取組状況



首里城復興基本計画に基づく取組



策定の趣旨

「首里城復興基本計画」は、基本方針で示した主な施策について、具体的に取り組む際の方向性等を体系的に定め、首里城復興を計画的に推進することを目的としている。

また、県民はじめ多くの人びと、企業・団体等及び行政・大学・関係機関等が、復興基本計画を共有することで、20年、50年先などの未来を見据え、連携・協働して、首里城に象徴される沖縄の歴史・文化の価値を確実に次世代へ継承し、それぞれの時代にふさわしい新たな文化創出など沖縄発展の礎として首里城復興に一体的かつ継続的に取り組んでいく。

基本施策	施策展開	主な担当部局
1. 正殿等の早期復元と復元過程の公開	(1)伝統技術を活用した施設整備 (2)木材、瓦等の調達に向けた取組 (3)復元過程の公開による観光資源としての活用	土木建築部
2. 火災の原因究明及び防火設備・施設管理体制の強化	(1)再発防止に向けた防火設備等の強化 (2)安全性の高い施設管理体制の構築	土木建築部
3. 首里城公園のさらなる魅力の向上	(1)国営・県営区域の一体的利用 (2)多様で柔軟な施設の活用	土木建築部
4. 文化財等の保全、復元、収集	(1)首里城跡の適正な保全と価値の周知 (2)文化財等の復元、修復及び収集	文化観光スポーツ部 教育庁
5. 伝統技術の活用と継承	(1)伝統的な建築技術の活用と継承 (2)美術工芸における伝統技術の継承	商工労働部 土木建築部 文化観光スポーツ部 教育庁
6. 「新・首里杜構想」による歴史まちづくりの推進	(1)歴史を体現できる風格ある都市空間の創出 (2)首里城公園及び周辺地域の段階的整備 (3)交通環境の整備	土木建築部
7. 歴史の継承と資産としての活用	(1)多様で魅力ある観光資源の活用 (2)平和を希求する「沖縄のこころ」の発信 (3)次世代を担う子どもたちへの継承	子ども生活福祉部 文化観光スポーツ部 商工労働部 教育庁
8. 琉球文化のルネサンス	(1)多様性・独自性を持つ琉球文化の再認識 (2)琉球文化の復興と新たな文化の創出 (3)国内外へ向けた琉球文化の発信	文化観光スポーツ部 商工労働部 教育庁
復興基本計画の着実な推進	(1)関係機関との推進体制の構築 (2)国内外の学術ネットワークとの連携 (3)県民等の継続的な参加による復興 (4)効率的で効果的な復興の推進	土木建築部 関係各部等

沖縄県に寄せられた寄附金額（令和7年3月末）

6,139,840,714円

（内訳）

令和元年11月～令和4年3月 **5,541,420,099円**

（首里城復興基金／首里城火災復旧・復興支援寄附金）

令和4年4月～令和7年3月末 **598,420,615円**

（首里城未来基金／首里城歴史文化継承寄附金）

焼失した首里城復元への活用を目的とした「首里城火災復旧・復興支援寄附金」は、令和4年度の正殿工事復元着工を節目とし、令和4年3月末で受付を終了しました。これまでの皆さまの温かいご支援、ご協力を心より感謝申し上げます。

お寄せ頂いた寄附金は、「首里城復興基金の活用に関する方針」に基づき、焼失した城郭内施設等の復元に引き続き活用させていただきます。活用状況は、マスコミ公開や県ホームページ等を通してご報告致します。

今後、県としては首里城に係る伝統的な建築等技術に係る人材育成、周辺の歴史まちづくり推進等、引き続き首里城復興に取り組んでまいります。これら施策の推進にあたり、令和4年4月以降は、新たに「首里城未来基金」を創設し、首里城への思いを持つ皆様との連携・協働の一環として、引き続きご寄付を募集し、県事業と一体的に取り組んでおります。今後とも首里城復興へのご支援・ご協力を何卒よろしくお願い致します。

沖縄県首里城復興基金への寄附金は、令和3年度末時点で約55億円が寄せられており、正殿の木材、瓦、屋外彫刻、室内装飾等に活用することが決定している。

沖縄県首里城復興基金の活用に関する方針 第1・第2より

基金は、一日も早い首里城火災からの復興を願う国外を含めた県内外からの寄附金によって積み立てられていることから、県民はもとより県内外の人びとの想いを尊重し、焼失した首里城の**城郭内の施設等の復元**に活用する。

首里城正殿の復元まで
(第1フェーズ)

令和4年3月31日時点

活用に関する方針 第2より

※寄附金 総額
約55.4億円

(1) 正殿の木材調達に関する事業

- 大径材(柱・梁・桁などの軸組に使用)の一部
→令和2年9月 国と覚書締結 令和3年7月に国と調達範囲を協議済・調達開始
- 大径材を除く造作材(壁、天井、床などに使用)のうち県産材・化粧材
→令和3年7月 国と覚書締結 令和5年1月に国と調達範囲を協議済・調達開始

(2) 正殿の赤瓦調達に関する事業

- 令和2年12月 国と覚書締結 令和5年9月に国と調達範囲を協議済・作業開始

(3) 大龍柱等の石彫刻、唐破風妻飾等の木彫刻及び龍頭棟飾等の焼物など、屋外彫刻の復元に関する事業

- 石彫刻(大龍柱等)・木彫刻(唐破風妻飾等)
→令和3年7月 国と覚書締結 令和5年1月に国と調達範囲を協議済・作業開始
- 焼物(龍頭棟飾等)
→令和3年7月 国と覚書締結 令和5年1月に国と調達範囲を協議済・作業開始

(4) 扁額などの室内装飾の復元に関する事業

- 扁額 →令和3年3月 国と設置同意 令和3年度 事業開始 令和4年度 試作開始
- 扁額以外 →令和3年7月 国と覚書締結 令和5年1月に国と協議済・作業開始

正殿復元後
(第2フェーズ)

(5) ~中略~ 北殿及び南殿等の復元に関する事業

基本施策1. 正殿等の早期復元と復元過程の公開 (2) 木材、瓦等の調達に向けた取組

首里城復興基金事業の活用箇所

部位	種類	名称	搬入	
木材	- 大径材	柱材(国産ヒノキ) 向拝柱材(イヌマキ) 小屋丸太梁材(県産)	R3-4	
	- 大径材以外	角材(化粧材・県産材) 板材(壁・天井・床等)	R5-6	
赤瓦	(1) 赤瓦	瓦[正殿 約60,000枚] [金型・機材・環境整備]	R6	
	(2) 瓦類	雲型飾瓦[約280個] (くもがたかざりがわら)	R6	
屋外彫刻	(4) 石彫刻	大龍柱/台石	R8	
	(5) //	小龍柱	R7	
	(6) //	石高欄/持送石 (いしこうらん)	R7	
	(7) //	礎石[105個] 礎盤[4箇所×3段]	R5	
	- //	石階段	R7	
	(8) 木彫刻	懸魚(げぎょ)	R6	
	(9) //	唐破風妻飾 (からはふつまかざり)	R6	
	(10) //	向拝 透欄間 (こうはい すかしらんま)	R6	
	(11) //	向拝 奥の彫刻物 (こうはい)	R6	
	(12) 焼物	龍頭棟飾[3個+胴体] (りゅうとうむなかざり)	R6	
	(13) //	鬼瓦[4個] (おにがわら)	R6	
	(14) 瓦類	磚[約1,500枚] (せん)	R7-8	
	室内装飾	(3) 漆芸	扁額[3点](へんがく) [共同作業場]	R8-
		(15) 垂飾	1階 御差床垂飾(瓔珞) (うさすかたれかざり)	R8
(16) 造作・彩色		1階・2階 台御差床 (だいうさすか)	R7	
(17) 造作・彩色		2階 御差床 (うさすか)	R6	

【首里城復興基金事業の対象選定の考え方】

- ・ 寄附者(来訪者)の目につきやすい「象徴部」
- ・ 県内に畜積・継承されている伝統技術の活用に資するよう、県産材または県内職人が関わる箇所

監修会議
各分野↓

【瓦類
WG】

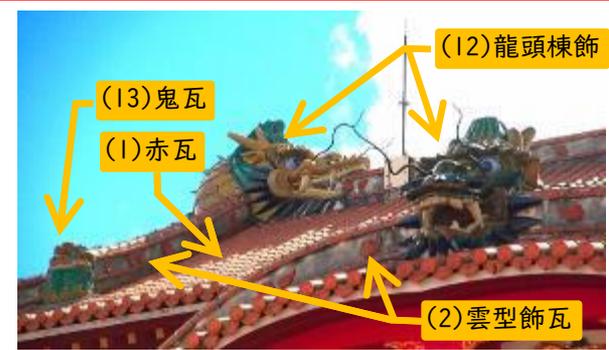
【彫刻
WG】

【焼物
WG】

【瓦類
WG】

【染織
WG】

【彫刻
WG】



県で製作し首里城内で国へ引渡し(彩色や設置等の現場作業を含まない)

基本施策1. 正殿等の早期復元と復元過程の公開 (2) 木材、瓦等の調達に向けた取組 県調達物(首里城復興基金事業)の瓦類の製造/搬入状況

- 県内製造した赤瓦、雲形飾瓦を令和6年7月から首里城正殿に搬入し、首里城正殿の屋根に赤瓦が葺かれた。



軒平瓦

軒丸瓦



赤瓦の焼成



正殿への搬入(R6.7.15)



赤瓦、雲形飾瓦施工状況(R7.1.29)



赤瓦金型の県内製造※



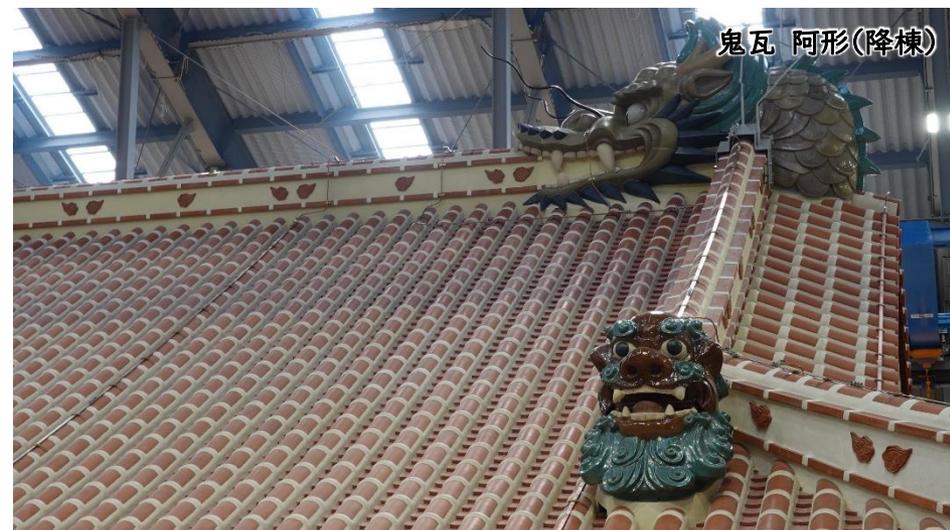
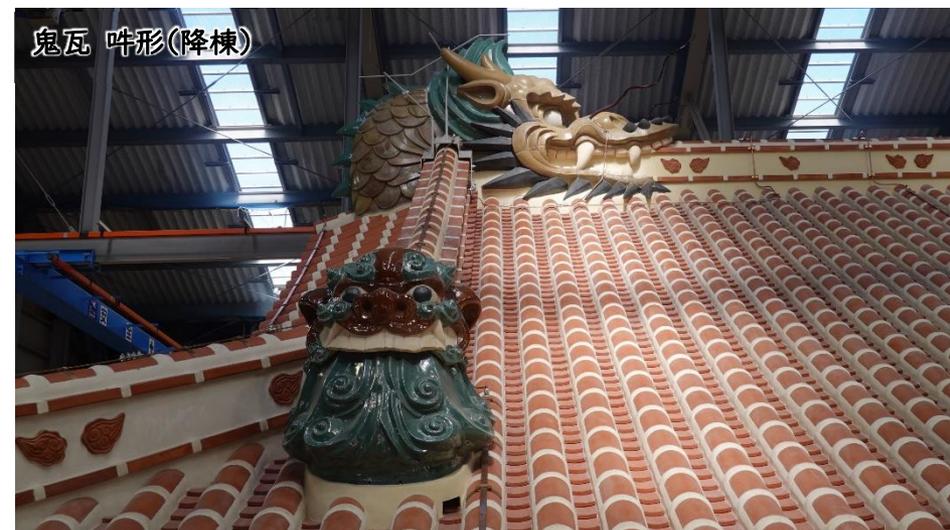
軒瓦の瓦当部一体成形※と乾燥状況



雲形飾瓦の製造状況(R6.8月)

※「赤瓦金型の県内製造」及び「軒瓦の瓦当部一体成形」は、関係者との調整や検討による令和の復元での新たな取り組み

基本施策1. 正殿等の早期復元と復元過程の公開(2) 木材、瓦等の調達に向けた取組
県調達物(首里城復興基金事業)の焼物分野の製作/搬入状況



鬼瓦・龍頭棟飾 設置状況
(R7.6撮影)

県産クスノキ
 内側の腕に使用



(R6.12撮影)

向拝奥の彫刻物(金龍)



(R6.11撮影)

向拝透欄間(上:中央 下:端)



(R7.1撮影)

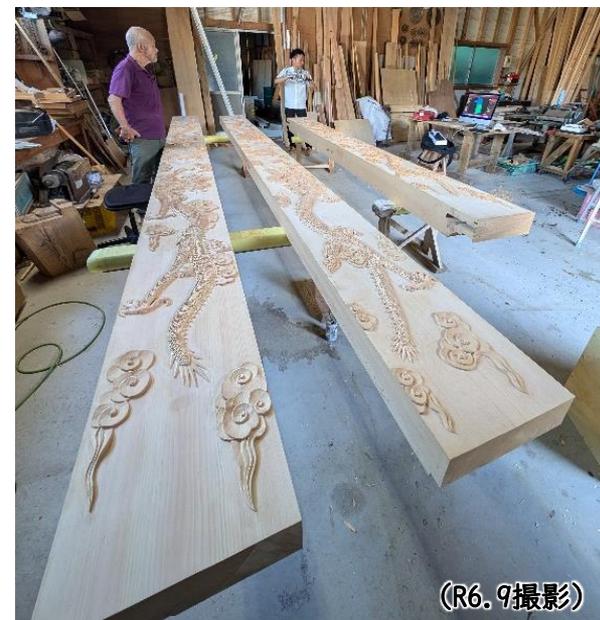
唐破風妻飾

向拝奥の彫刻物(獅子 吽形)

向拝奥の彫刻物(牡丹に獅子・唐草)

向拝奥の彫刻物(獅子 阿形)

基本施策1. 正殿等の早期復元と復元過程の公開 (2) 木材、瓦等の調達に向けた取組
 県調達物(首里城復興基金事業)の彫刻分野の製作/搬入状況



(R6. 9撮影)

2階御差床 内法額木



(R6. 8撮影)

2階御差床 龍柱



(R6. 7撮影)



2階御差床 羽目板



大龍柱
(R7. 5撮影)



小龍柱
(R7. 5撮影) 製作作業中



石高欄親柱上の獅子
(R7. 4撮影)



県産イヌマキ
手摺に使用

国王専用階段内部手摺(上段:布着作業後 貫:作業中)

(R7. 3撮影)

基本施策1. 正殿等の早期復元と復元過程の公開(2) 木材、瓦等の調達に向けた取組
 県調達物(首里城復興基金事業)の染織分野の製作状況



- ・ 刺繍は、瑞雲文と龍文は本製作を開始しつつ、火焰宝珠文は部分試作で検討。
- ・ 下部に取り付ける飾玉は、部分試作による照明実験を実施し、令和7年度より本製作を開始する予定。